

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	先進的ケア・ネットワーク 開発研究分野
学籍番号	14S3042	院生氏名	田代 由美
通学キャンパス	福岡キャンパス		
論文題目	盲養護老人ホーム入所者によるボランティア活動に関する研究 — 地域での交流による変化 —		
審査結果 (枠で囲む)	<input checked="" type="checkbox"/> 合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 研究の概要、意義など</p> <p>本研究は、ボランティア活動による盲養護老人ホームの入所者の主観的な心理的变化と周囲の変化を明らかにすることを目的に、盲養護老人ホームの入所者に対する参与観察とインタビュー内容の分析により調査した質的研究である。具体的な研究内容は、①盲養護老人ホームで行われる地域交流カフェ（ボランティア活動）での参加者の観察記録、②盲養護老人ホームでのマッサージボランティアに参加した高齢の盲マッサージ指圧師 8 名に対する活動前後のインタビュー調査、および③盲養護老人ホームで勤務する職員 2 名に対する半構造化面接調査（逐語録による分析）の 3 つの研究で構成される。</p> <p>これらの研究の結果、盲養護老人ホームにおけるボランティア活動によって、入所者の自己有用感が向上し、前向きな心境の変化が得られることが示唆された。また、施設の職員にも生活指導に関する意欲の向上も認められ、「地域のボランティア活動が施設入所者の QOL の向上と介護予防に効果的である」と結論づけた。</p> <p>本研究は、高齢の視覚障害者に焦点をあて、盲養護老人ホームにおけるボランティア活動の意味を調査したという点で新規性があり、超高齢社会にあって「高齢視覚障害者の介護予防と QOL の向上」につながる研究として高く評価できる。</p> <p>2. 審査経過</p> <p>12 月 5 日に第 1 回の審査会を実施し、口頭試問において適切に応答したものの、審査員から論文の掲載内容や結果の記載方法、文献の引用方法などについての修正が求められた。以後、2 回の修正により適切に修正がなされた。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士（介護福祉・ケアマネジメント学）の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 原口 健三</p> <p>副 査 中村 秀一</p> <p>副 査 後藤 純信</p>		